

5 未来への継承

本計画は2023年度からの10年を対象としていますが、基本理念及び基本方針を未来へ継承するために、2033年度以降の未来に展開する取組についても次のとおり示します。

地形や景観を活かした遊び場の整備

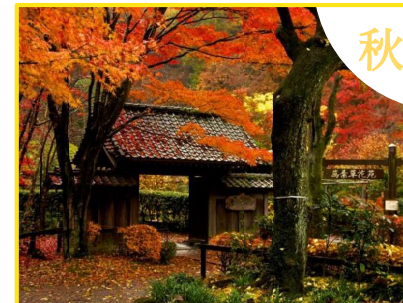
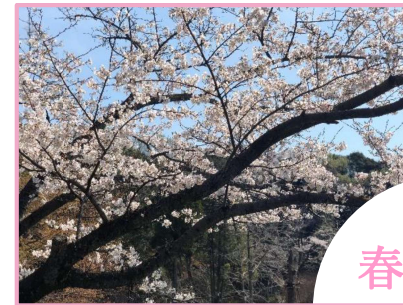
四季彩の杜の魅力の1つである起伏のとんだ地形や樹林景観を継続して保全するとともに、既存の景観の中で、多様な世代が楽しめる遊び場をつくります。その際には、隣接地とのアクセス連携を含めた整備を検討します。(南園)

歴史文化資産の復元や活用

エリアには民権の森緑地保全地域の石阪昌孝の墓や鎌倉古道など歴史的価値の残る場所が数多く存在します。これらを周知し、継承するために歴史文化資産の復元や活用などを含めた事業展開を進めます。(ぼたん園)

隣接地域との連携

四季彩の杜の隣接地域には、大規模な藤の台団地、町田山崎団地が存在します。これらの管理者と連携し、ともに発展するエリアにしていきます。(エリア全体)



四季が織りなす 薬師の恵みに

ときめき楽しむライフスタイルを

次世代へ

